

言語文化教育研究学会

第37回 月例会

言語教育における自律学習とその支援を考える

—「わせだ日本語サポート」における支援実践を事例として—

日時：2015年12月18日（金）18:00～19:45

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 715教室

発題者：千 花子（早稲田大学大学院生）

加藤 駿（早稲田大学大学院生）

古屋 憲章（早稲田大学日本語教育研究センター）

私たちは、早稲田大学日本語教育研究センターにより開設された「わせだ日本語サポート」（以下、「サポート」）の支援スタッフです。「サポート」では、早稲田大学に在籍する日本語を母語としない学生を対象に、自律的な日本語学習を促す支援を行っています。私たちは「サポート」を訪れる多様な学生に対応する中で、また自らの支援実践を振り返りながら、自律学習やその支援のあり方に関し、日々考えています。

本月例会では、「サポート」を題材に、言語教育における自律学習とはどのような営みか、自律学習の支援はどのようにあるべきかに関し、参加者の皆様と議論します。具体的には、次のような活動を行います。

- 1) 発題者よりいくつかの先行研究を参照しながら、言語教育において自律学習がどのように議論されてきたかを紹介します。
- 2) 発題者より「サポート」において、自律学習がどのように捉えられ、どのような支援実践が行われているかを紹介します。
- 3) 1) 2) を踏まえ、次のポイントに沿って、参加者全員で言語教育における自律学習や自律学習支援に関するお互いの経験や考えを共有します。
 - ① あなたにとって「自律学習」とはどのような営みですか。
 - ② あなたにとって「自律学習支援」とはどのような営みですか。
 - ③ 「自律学習支援」は、あなたの教育実践とどのような関係がありますか。

言語教育における自律学習とその支援をめぐる議論が、参加者の皆様にとって、また私たちにとっても、自身の教育実践を問い直すきっかけになればと思います。



参加費：無料 予約：不要（当日、直接会場にお越しください）

お問い合わせ：monthly@alce.jp